

**PRESS RELEASE**

## ネットいじめ対策で、教育委員会・大学・デジタルアーツが連携

～尼崎市の児童生徒がネットいじめにつながるワードを選定、書き込みをブロックする取り組み事例を公開～

情報セキュリティメーカーのデジタルアーツ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:道具 登志夫、以下 デジタルアーツ、証券コード 2326)は、兵庫県尼崎市教育委員会(教育長:白畑 優(しらはた まさる)、以下、尼崎市)による、Web セキュリティクラウドサービス「i-FILTER@Cloud」GIGA スクール版を活用したネットいじめ対策を 4 月 27 日に公開したことを発表します。

### デジタルアーツの「見守りフィルター」でネットいじめにつながる NG ワードをブロックし教師に通知、指導につなげる

尼崎市は 2022 年度、ネットいじめにつながるワードの書き込みをブロックする「i-FILTER@Cloud」GIGA スクール版の「見守りフィルター」の導入を検討しています。「見守りフィルター」とは、任意のワードで検索や書き込みをブロックし通知できるもので、尼崎市の児童生徒自身がネットいじめにつながるワードを選定し、尼崎市はそれを「見守りフィルター」で検出するワードとして設定します。

他人を傷つける言葉を使わないよう自分たちで決めたルールを守ることや、「見守りフィルター」でブロックされた際には教師がそれを指導につなげることが狙いです。このプロジェクトは主に尼崎市立教育総合センター 学校 ICT 推進課係長(2022 年 3 月取材当時)の瀧本晋作氏と兵庫県立大学の竹内和雄准教授が進めています。

### 教師が NG ワードを設定するのではなく、児童生徒に NG ワードを考えさせる

尼崎市は、児童生徒に 1 人 1 台端末を配布する GIGA スクール構想で約 3 万台のタブレット端末を整備し、Web フィルタリングソフトとして「i-FILTER@Cloud」GIGA スクール版(以下、「i-FILTER@Cloud」)を導入しました。尼崎市は 2022 年度から「見守りフィルター」を活用してネットいじめにつながるワードをブロックする取り組みを始めようと検討しているところです。

尼崎市の特筆すべき点は、この「見守りフィルター」に登録するワードを教師など大人が設定するのではなく、児童生徒に考えさせて決める点にあります。竹内准教授は「教育委員会の生徒指導担当と情報担当の連携、大学の研究者と企業、今回の場合はデジタルアーツが連携していることは画期的なことです。他では聞いたことがありません」と強調します。

多くの教育委員会や学校では生徒指導担当と情報担当が分かれており、それぞれが単独で動く傾向にあります。尼崎市では 2021 年度に児童生徒がスマートフォンなどの使用に関するルールづくりを考える「尼崎市スマホサミット 2021」を開催し、これをきっかけに教育委員会内の連携が密になりました。

この連携について竹内准教授は「ネットいじめは生徒指導担当と情報担当が一緒になって取り組まなければ対策が難しい問題です。従来、生徒指導が優先されていましたが、GIGA スクール構想で情報が逆転し、町田市の事件をきっかけにまた生徒指導優先に逆戻りしてしまい、チャット機能を使用禁止という自治体が出てきたり…と行ったり来たりしている状況です」と背景を語ります。

しかし「児童生徒は端末を使いながら光と影を学んでいかなければなりません。その上で機械による制御も重要です」(竹内准教授)といま



スマホのルールづくりを考える「尼崎市スマホサミット 2021」

## 教師は「見守りフィルター」の通知から指導につなげられる

「見守りフィルター」の活用について、瀧本氏は「児童生徒がリアルな目線で選んだネットいじめにつながるワードを『NG ワード』として、『見守りフィルター』の検出ワードに加えての運用を検討しています」といいます。竹内准教授は「NG ワードの認識は大人と異なり、児童生徒だからこそ見えるものがあります。自分たちでルールを決められるため、責任感を持つことになり、自身も納得感が得られることから、ルールの順守にもつながります」といいます。

NG ワードの書き込みが「見守りフィルター」で検出されると、教師はいつ・誰が・どんな NG ワードで書き込みをしようとしたのかを確認することができます。竹内准教授は「実際の喧嘩であれば教師は介入することができますが、ネット上ではそれは難しいです。GIGA 端末は文房具ですから、個人所有のスマホと違って教師は中身を見ることができます。せっかくツールを持っているのに、学校でチャットは一律禁止などとしていては指導の機会を手放していることにもなります。『見守りフィルター』があることによって教師も指導につなげることができるのです」と述べています。

尼崎市は市内全校に「学校管理者」の権限を与えて、各学校の実情に合わせた形で「i-FILTER@Cloud」を運用していく運用を始めています。これに加え、2022 年度からは全市で効果的に「見守りフィルター」を活用していく方法についても検討していきます。

■ 尼崎市教育委員会導入事例の全文はこちら ▶ <https://www.daj.jp/bs/case/case92/>

## 「i-FILTER@Cloud」GIGA スクール版について

デジタルアーツの Web セキュリティクラウドサービス「i-FILTER@Cloud」GIGA スクール版は、GIGA スクール構想における 1 人 1 台端末を、教育の現場で安全にかつ円滑な学習ができるよう利用いただくために改良した学校用フィルタリングサービスです。国内導入シェア No.1※の「i-FILTER」におけるフィルタリングデータベースをもとに、学習の現場に合わせたきめ細やかなフィルタリングルール設定が可能です。

※ 株式会社富士キメラ総研「2021 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧」Web フィルタリングツール市場占有率(2020 年度)(2021 年 9 月発行)

### デジタルアーツ株式会社 概要

Web、メール、ファイルなどのセキュリティソフトウェアの提供を核に事業展開する情報セキュリティメーカーです。1995 年の創業以来、「より便利な、より快適な、より安全なインターネットライフに貢献していく」を企業理念とし、有害情報の閲覧を制限する Web フィルタリングソフトを開発、以来企業・公共・家庭向けに情報セキュリティ製品を提供しております。

東京都千代田区大手町 1-5-1 大手町ファーストスクエア ウェストタワー14F

URL: <https://www.daj.jp/>

<本リリースに関するお問い合わせ>

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴う在宅勤務実施中のため、お問い合わせ先は下記とさせていただきます。

デジタルアーツ株式会社 広報担当 石井 (TEL : 080-8750-0425 / E-mail : [press@daj.co.jp](mailto:press@daj.co.jp))

※ デジタルアーツ、DIGITAL ARTS、i-FILTER、i-FILTER@Cloud Anti-Virus & Sandbox、info board、Active Rating System、D-SPA、NET FILTER、SP-Cache、White Web、ZBRAIN、クレデンシャルプロテクション、ホワイト運用、m-FILTER、m-FILTER MailFilter、m-FILTER Archive、m-FILTER Anti-Spam、m-FILTER Anti-Virus & Sandbox、m-FILTER@Cloud Anti-Virus & Sandbox、m-FILTER File Scan、Mail Detox、m-FILTER EdgeMTA、EdgeMTA、FinalCode、DigitalArts@Cloud、Desk@Cloud、Desk、D アラートおよび D コンテンツその他の弊社・弊社製品関連の各種名称・ロゴ・アイコン・デザイン等はデジタルアーツ株式会社の登録商標または商標です。

※ その他、本書に記載されている各社の社名、製品名、サービス名およびロゴ等は、各社の登録商標または商標です。